

総務民生常任委員会記録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和8年6月16日（火） 議会第1委員会室

午後1時30分 開議 午後3時11分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員長	丸田 一 幹 (○)
副委員長	本 吉 典 子 (○)
委員	寺 井 哲 也 (○)
〃	櫻 井 英 一 (○)
〃	浅 野 俊 二 (○)
〃	山 本 泰 夫 (○)
議長	酒 井 一 人 (○)

3. 傍聴した者 北川 真知子 議員 一般傍聴者1名

4. 出席した説明員

岸市長、川口副市長、政氏市民福祉部長、中島総務部参事、森田デジタル推進室長、北山秘書課長、山岸企画財政課長、崎田まちづくり課長、安達災害復興推進室長、木曽市民窓口課長、木田会計管理者、鍋谷税務課長、赤井地域包括ケア推進室長、蓮本こども課長、清水こども課こども家庭支援担当課長、西野選管書記長・監査委員事務局長

※市長はあいさつ後、退室（午後1時32分）する。

5. 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成 事務局次長 山本 裕一 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

別紙付託表のとおり

7. 会議の概要

丸田委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、付託表及び報告表に基づき執行部から説明を聴取し、その後、質疑・応答が行われる。

終了後、採決に入り、議案2件はいずれも全会一致で可決する。

請願第3号については、賛成少数で不採択と決する。継続審査中の令和7年請願第2号及び

請願第3号については、ともに、賛成少数で不採択と決する。詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。陳情1件については聞き置く。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、丸田委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・応答】

松田委員：羽咋市介護保険条例の一部改正について、条文を包括規定にしているが、その理由は何か。また、包括規定にすることによって、市長が認める場合は何にでも適用できてしまうのではと危惧するが、いかがか。

赤井地域包括ケア推進室長：介護保険の減免規定には、今回の税制改正に対応する減免がなかったもので規定したものである。今回の減免は令和8年度限りのものであるが、今後必要と認めるいろいろなケースに対応できるよう、他自治体と同様に包括的な規定とした。

櫻井委員：石川県は土地開発公社を12年以上前に解散しており、かほく市など県内の市町でも解散している。土地の先行取得の役割が薄れてきたことや、保有する財産の長期金利への負担などが解散の理由であるが、羽咋市は土地開発公社を今後も活用していくつもりなのか。

川口副市長：全国的には土地開発公社の解散はかなり進んでいると思う。土地の上昇局面であれば早期に取得できるというメリットもあったが、塩漬け用地の問題とかもあり解散をする自治体も出てきている。ただ、近年では国道159号用地のスムーズな取得やラクナはくいの用地取得は、土地開発公社だから可能であった事業である。将来に備え政策的に土地を取得する可能性があることや、太陽光発電用の土地として重光商事と令和15年まで賃貸契約を結んでいることもあり、しばらくは土地開発公社を存続していきたいと考えている。土地開発公社の用地の活用をしっかりと進めていきたい。

浅野委員：国道159号に関し、千代田機電の土地の取得についての国交省の計画の見通しは。市として先行取得することはあるか。

川口副市長：国道159号に伴う千代田機電の用地の関係については、国の方でこれから千代田機電と話をしながら進めていく段階と聞いている。何か決まったわけではない。

浅野委員：周辺の土地について、今まで取得した所と同じようなやり方で行うのか、国が直接取得するのか。

山岸企画財政課長：土地開発公社の方には、国からの先行取得の依頼手続きはなされていない。

松田委員：自治体標準システム保守業務は令和8年度1年間で6,800万円だが、次年度以降も発生するのか。減額の変更契約をする可能性はあるのか。

森田デジタル推進室長：今年1月に標準化システムに切り替えた。令和8年度から本格的に運用を開始しているが、今後国の指導を受けながら全国的に運用費の精査を行う。その結

果を受けて次年度以降の保守費が減額となる可能性はあると思う。ただ、精査は今年度いっぱいかけて行うので、今年度中の変更契約は想定していない。

【請願に対する主な意見】

櫻井委員：年金制度の請願について、趣旨はよくわかるが、請願の1番のマクロ経済スライドの廃止に関し、現役世代の保険料負担が過重とならないために、そして将来的に年金制度を維持していくために自動的に調整する制度であり、残すべき。物価高騰には、定期的な給付で対応すべきであり、本請願には賛成はできない。

松田委員：櫻井委員と同意見であり、さらに、年金支給を隔月ではなく毎月支給とすると、国全体の振込手数料の負担が増えることとなり、年金の支給額に影響するという負の側面もあると思う。

浅野委員：年金だけの生活は非常に厳しく、政府はインフレ政策をとっているので、物価はさらに上がっていくと思う。もっと慎重に扱い審査を継続して勉強すべき。

櫻井委員：OTC 類似薬の保険適用除外について、完全な保険適用除外は見送られることとなり、また、長期使用が必要な患者さんなどに一定の配慮措置も設けられる予定であり、請願内容がもうすぐわなくなっているので不採択でいいと思う。

櫻井委員：加齢性難聴者の補聴器購入補助について、日本の補聴器の普及率は、軽度、中度合わせて15パーセントと低く、その理由が高額だからというもの。社会に参画しやすくし、生活の質を低下させないためにも補助は大事だと思うので、賛成したい。

松田委員：難聴者は、高齢者に限らず軽度でも中度でも生活に支障があると思う。また、加齢により歯や目も悪くなるが、必要な器具を全て補助するとなると財政力を考慮すれば補助メニューの創設は慎重にならざるを得ないと思う。この請願には賛成いたしかねる。

浅野委員：耳から声が聞こえないと急速に認知になるという話も聞く。補助することによって、医療費が安上がるのでは。弱い立場の人のことをもっと考えるべき。

寺井委員：県の方では今、補助に消極的という話も出ているが、その後どのように展開していくかわからない。市単独で行うのではなく、県で基準を決めて補助をするとなった時に、羽咋市として上乗せしていく方がいいと思う。

【付託案件以外のその他に対する主な質問・応答】

松田委員：本会議で質問したのは、各種体操を行うことは良いことだが、専門職に頼らず地域住民が教える持続可能な担い手の育成という仕組みを作ってほしいという提案だった。モデル地区を作り水平展開するというようなやり方は考えられないか。

赤井地域包括ケア推進室長：今後、そのような仕組み作りも考えていきたい。

本吉副委員長：特養やグループホームの待機人数を教えてほしい。また、待機人数が多く生じている要因は何か。

赤井地域包括ケア推進室長：確定ではないが、待機人数はグループホームで20人ほど、特養で

20人～30人ほどである。要因は今お答えできないが、グループホームは今年度も計画に基づいて募集をしており、計画に基づき対応していきたい。

浅野委員：特養が足りていないのではないかと思うが、何か対応はしないのか。

赤井地域包括ケア推進室長：特養は県の所管であり、県には現状を伝えながら対応していきたい。

浅野委員：弘和会の件について、市はもっと積極的に不正を解明すべきだ。従業員や辞めた人たちの中に協力するという人もいる。その人たちの話も聞くべきではないか。

川口副市長：羽咋市は福祉避難所に関して告訴し介護施設の関係でも行政処分を行った。弘和会が今回の不正のことをしっかり認識して、しっかり立ち直ってもらいたいと思う。そのために、全て原因を解明し、分析し、再発防止策を徹底していく。従業員や辞めた方には公益通報制度がある。議会の特別委員会でも適宜報告していく。

本吉副委員長：延長保育について、本市は利用回数に関わらず月額2,500円が上限である。保護者にとっては使いやすいが常態化を生むという面もある。両面を考慮し、制度設計について検討する必要があるのではないか。

蓮本こども課長：延長保育は現在、延長保育1回につき300円、1ヶ月ご利用される方は2,500円という設定をしている。保護者が仕事と子育てをしっかりと両立できるよう延長保育を実施している。利用回数に応じた利用料金制度も考えられるが、家庭のために仕事をしているのに、保育の回数が増えることによって料金が上がるというのは、延長保育の趣旨に逆行してしまう。利用される方には、延長保育の真意をしっかりと理解した上で適切に利用していただき、仕事と子育ての両方の教育環境の構築につなげていきたい。

総務民生常任委員会記録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和8年6月19日（金） 議会第1委員会室

午後2時6分 開議 午後2時8分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員長	丸田 一 幹 (○)
副委員長	本 吉 典 子 (○)
委員	寺 井 哲 也 (○)
〃	櫻 井 英 一 (○)
〃	浅 野 俊 二 (○)
〃	山 本 泰 夫 (○)
議長	酒 井 一 人 (○)

3. 傍聴した者 な し

4. 出席した説明員

川口副市長、政氏市民福祉部長、中島総務部参事、木曽市民窓口課長、鍋谷税務課長

5. 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成 事務局次長 山本 裕一 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

別紙付託表のとおり

7. 会議の概要

丸田委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、付託手続きに誤りがあったため審査する報告3件については、6月16日の本委員会で執行部からの説明及び質疑が終了していることから直ちに採決に入り、報告3件はいずれも全会一致で承認する。

最後に、丸田委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

令和 8 年第 2 回定例会議案付託表

総務民生常任委員会

番号	議案番号	議 件
1	議案第 2 8 号	羽咋市介護保険条例の一部改正について
2	議案第 2 9 号	字の区域の変更について
3	報 告 第 9 号	羽咋市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
4	報告第 1 0 号	羽咋市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
5	報告第 1 1 号	羽咋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

令和 8 年第 2 回定例会議案報告表

総務民生常任委員会

番号	議 案 番 号	議 件
1	報告第 1 6 号	業務委託契約の締結について
2	報告第 1 7 号	工事請負契約の締結について
3	報告第 1 9 号	法人の経営状況について